

大津ヶ丘第二小学校保護者の皆様

2021.05.19

PTA 会長 山口

・ご挨拶

今年度会長を務めさせて頂く事になりました山口です。

1年間宜しくお願い致します。

今年度の会長として初めに現本部の考え方を皆様にお伝えしたいと思っております。

『大津ヶ丘第二小学校PTAは子供達の為に何が出来るかを考え実行する
在校児童保護者のボランティア集団』という事です。

ここから全ての判断基準に子供達の為になっているかどうかという事を
メインの軸に据えて活動していきたいと思っております。

私は去年度から PTA 本部に参加させて頂いていたのですが、
去年度はコロナ過という事もあり PTA 活動というのは殆ど行えない状況で
ございました。

その中で私が感じた事があります。

PTA 活動（特に本部）に費やした時間の殆どが
大きく括ると全保護者がどうやったら平等な負担で PTA 活動ができるか？
という議論や仕組み作りでした。

これは保護者の方から改善してほしいとの要望や、
現状の仕組みでは誰しものが、どこかしらに不満があるからだと思えます。

これは私の考え方なのですがまず教育や育児において
全家庭に平等な負担というものはそもそも大事な事なのでしょうか？
どの保護者の方もご自身の子供に為に日頃の殆どの時間を
費やしているのではないのでしょうか？

この多様性が尊重される時代で家庭の形も千差万別でございます。
各家庭によって考え方や価値観の優先順位というものは違って当たり前で尊重されるべき
事だと私は思います。

始めに戻りますが『子供達の為にになっているかどうか』という考え方の中では、

現在の全家庭にPTAとしてのポイント制で平等にPTA活動に参加してもらうという事自体を見直さなければいけない事のような気が致しております。

例えば、日頃共働きのご家庭で子供と接する時間の少ないケースです。

保護者は子供の為家庭の為にまず稼ぐという事が大事であり、最優先事項というご家庭もあるかと思えます。

その方に仕事の時間、少ない家庭の時間を割いてまでPTA活動に参加してもらう事はその家庭のお子さんの為になっていないのではないのでしょうか。

PTA活動に参加する時間よりもお子さんと今日の出来事を話したり、スキンシップをとる事が一番子供の為になるのではないのでしょうか？

他にも色々なケースがあると思えます。

日頃家事に追われて自由な時間がほとんどなく、

いざ子供と接する時に精神的に余裕がなくなり

つい強く叱りすぎてしまったり、イライラしてしまう方もいらっしゃると思えます。

そういう状況であればPTA活動に参加する事よりもまずご自身のリフレッシュに時間を使って頂いた方が結果的にそのご家庭のお子さんにとっては良い事につながると思えます。

つまりは子供の為の行動の優先順位はPTA活動が最上位では無い事があるのに、全家庭に同じルールを適応して同じ価値観を押し付ける事はやめるべきという事です。

PTAの広報誌作りや通学路の旗持ち、ベルマークの回収などが

子供達の為に今自分ができる事だと思える方がいらっしゃったら活動して頂き、

その方々には感謝の気持ちを持つ。PTA活動に参加しない方が手抜きをしている

というような認識を持たない。これが健全なボランティア団体ではないのでしょうか？

私から提案したい議題がございます。

今年度1年間をかけて本校のPTAでポイント制を廃止し、

完全な任意制に移行していく話し合いを行いたいと思っております。

任意制にした場合、PTA会員が極めて少ない規模になった場合でも

その人数で何が出来るかを考え行動する事ができれば今よりも

より生産性の高いポジティブな集団になれると思えます。

お忙しい中恐縮でございますが皆様のご意見をお伺いできればと思っておりますので

アンケートにご協力をお願い致します。